



明日を信じて

新潟市立瀧東小学校 平成31年3月20日発行 第13号
「明日（あす）を信じて」は校歌のサブタイトルです

笑顔輝く瀧東小学校 開校3年目最終章

校長 篠宮 敏明

グラウンドの桜の芽も少しずつふくらみ、秋に植えたチューリップの球根も芽を伸ばし、春が近いことを知らせてくれます。開校3年目、平成30年度もあとわずかとなりました。

「笑顔輝く瀧東小学校」を方針に、皆様からご理解、ご協力をいただき、学校経営を進めてまいりました。おかげさまで、たくさんの「笑顔の輝き」を実現することができました。

9月の「全校弥彦登山」。辛く、長い道のりでしたが、「にじいろ班」で助け合いながらゴールを目指しました。苦しい経験を共にやり遂げることで、子どもたちの絆はさらに強くなりました。

10月の「持久走記録会」。苦しくても、苦手でも、たとえ速く走れなくても、自分の目標に向かってコツコツと練習を重ねる。そんな子どもたちの汗はきらきらと美しく輝いていました。

2月の「長なわ大会」。「にじいろ班」で心を合わせ、失敗しても声を掛け合い、苦手な子がとべるように背中を押し、なわのスピードを緩める。体育館はやさしい気持ちであふれました。

子どもたち一人一人は、一つ一つの活動や行事をやり遂げ、たくさんの経験をし、たくましく成長してきました。子どもたちのたゆみない努力を心から讃えたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様からは、瀧東小学校の教育にたくさんのあたたかいご支援をいただき、教育活動は充実し、大きな成果につなげることができました。家庭・地域・学校の連携・共育・協働により、子どもたちの「笑顔の輝き」を確かなものにすることができました。心から感謝申し上げます。

子どもたちの「笑顔」は、保護者の皆様、地域の皆様、そして私たち教職員の「宝物」です。今後も子どもたちの「笑顔の輝き」の実現を目指し、家庭・地域・学校が子どもたちの「笑顔」を共有し、子どもたちの「笑顔」を「宝物」にし、そして「笑顔」で子どもたちに還元してまいりたいと思います。

3月22日は「卒業証書授与式（卒業式）」です。卒業式は「教育活動の集大成」と言われます。所作や歌唱、呼びかけ等をとおして、一年間の学習の成果を発揮する場であり、卒業生の晴れの門出を祝い、感謝の気持ちを表す心の教育の機会です。私たち教職員は、卒業式にいたるまでの指導と準備、卒業式当日の運営や心配りに全力を尽くします。

保護者の皆様、地域の皆様、そして関係諸機関・諸団体の皆様には、卒業生がたいへんお世話になりました。今後も引き続き、第3回卒業生にご厚情を賜りますようお願い申し上げます。